

鹿屋

薩摩義士の偉業を紙芝居で披露



5月2日に鹿屋高校で、5月6日、寿北小学校、寿小学校で「宝暦治水・薩摩義士物語千の松になって」の紙芝居公演が行われました。

合計23枚からなる自作の紙芝居を披露したのは、木曾川、長良川、揖斐川の木曾三川を改修した、宝暦治水工事の総奉行「平田靱負」から9代目の子孫に当たる高須町出身の平田靱久さん。平田さんは、250年を経た現在でも薩摩義士に対する感謝の心を忘れない岐阜の人々への恩返しをしたいとの思いから県内外で数多くの紙芝居公演を開始。

公演を行うにつれ、鹿児島ではあまり知られていないと感じ、一人でも多くの人に知ってもらいたいと、今回、鹿屋での披露となりました。

紙芝居公演を観た高校生や小学生たちは、歴史への興味を抱くとともに、薩摩義士の偉業に真剣な表情で聴き入っていました。

鹿屋

手作りのあじさい園が完成



天神町の川村墓石店に隣接した「いこいの里園」で2,500株のあじさいが咲き誇っています。

同園は、高須町の川村忠光さんが、採石場だった敷地約5haを切り開いて、平成4年から手作りで整備したもの。あじさいを鑑賞しやすいようにと石垣を作りあげたほか、休憩所も完備されています。あじさいは、6月中旬ごろが満開ということです。

串良

「やねだん」で芸術祭



5月1日から8日まで、串良町上小原の柳谷町内会通称「やねだん」で東日本大震災のチャリティーイベントとして「第4回芸術祭」が行われました。

やねだんに移住してきた芸術家7人の作品を中心に、県内外から多くの芸術作品が展示され、多くの家族連れなどが芸術作品に魅了されていました。

また、芸術祭の開会式では、東日本大震災の復興支援として、被災地に送る自動車1台が披露されました。これは、被災した子どもたちや子育て世代を支援する宮城県仙台市の「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」に届けられます。

鹿屋

(株)夢かのやと立地協定締結

6月1日、株式会社夢かのやと鹿屋市の立地協定調印式が、市役所で行われました。

同社は、地域農産物の生産から加工、流通、販売までを一体的に展開する内発型産業振興のモデル事例として、下堀町に農産物処理加工施設を新設します。

今回の立地は、農家が安心して農産物を生産できる環境を整えることにより、担い手の育成・確保、耕作放棄地の解消などに繋げたいとの思いから実現したものです。

同社は、来年4月に操業を開始する計画で、雇用は当初30人、1年後には約100人を予定。関西圏への販売先も確保されており、地域経済の活性化に大きく貢献するものと期待されています。



鹿屋

交通安全の意識高める ～交通安全コンサート～



5月14日、リナシティかのやで「交通安全コンサート」が開催されました。

これは、春の全国交通安全運動の一環で、交通安全の意識を高めようといわれたもの。当日は、交通事故体験談の朗読や夜行反射材効果実験などが行われたあと、県警音楽隊と鹿屋東中学校吹奏楽部によるコンサートが行われました。

鹿屋

世界の料理を堪能



5月28日、上高隈町のカピックセンターで「世界まるかじりバーベキュー」が開催されました。

これは、世界を身近に感じてもらうと行われたもの。

当日は、家族連れや市内在住の外国人など約30人が参加して、インドネシアやブラジル、タイなど5か国の料理が用意され、参加者たちは各国の料理を堪能していました。

吾平

劇団かな「夕鶴」公演



5月9日、吾平振興会館で劇団かなによる「夕鶴」の公演が行われました。

これは、芸術に接する機会の少ない小中学生に、舞台芸術を鑑賞してもらおうと行われたもの。

演劇には、児童8人も特別出演。当日は、児童生徒や地域住民など約600人が鑑賞し、児童生徒たちは、初めて見る劇団による演劇に見入っていました。

鹿屋

親子一緒に楽しむ



5月15日、リナシティかのやで「第3回子育てフェスティバル」が開催されました。

これは、「安心して子どもを産み育てる環境づくり」などの推進を目的に開催されたもので、今年で3回目。約2,000人が訪れた会場では、一般・学生ボランティアによる展示や読み聞かせのほか、体験コーナーなどもあり、親子が一緒になって楽しんでいました。

鹿屋

野菜の植え付けを体験



5月26日に野里保育園、31日にエンゼル保育園の園児が「野菜の植え付け」を体験しました。

これは、鹿屋農業青年クラブが取り組む「アグリキッズ育成プロジェクト」の一環。園児たちに農業を体験して、農を身近に感じて興味を持ってもらおうと行われたもので、園児たちは、「大きく育ってね」と話しかけながら植え付けを行いました。

鹿屋

園児たちが花のプレゼント



5月21日、信愛幼稚園の園児が市役所を訪問し、歌と花束をプレゼントしました。

これは、園児の社会体験の一環として、いつも働いている皆さんへ感謝の気持ちを込めて「花の日」に行われているもの。園児たちは、元気な歌を全員で合唱したあと、「いつもみんなのためにお仕事ありがとう」と感謝の言葉と花束を職員に手渡しました。